

外交官の仕事学ぶ

八学光星高で外務省講座

八戸学院光星高（中 領事らが講師を務め、村良寛校長）でこのほ 同校普通科特別進学コースの1、2年生44人 高校生対象の講座が開 かれた。中国在広州日 や、国際社会への理解 本国総領事館の古屋健 の大切さを説いた。



リモートで開かれた、高校生を対象とした外務省による講座

講座は、高校生に外交、国際問題に対する関心を深めてもらうとうと、同省が毎年、全国各地の約130校で開催している。同校での開催は初めてで、新型コロナウイルス感染症対策のため、リモートで行われた。

講座では、古屋領事が中国の思想や食文化などについて説明。参加した同校2年の田名部真心さん(17)は「中国に対するイメージと、実際に現地で見聞きしている方との印象の違いがあると感じた。イメージにとられないよう、自分で確かめることが重要だと感じた」と話した。

将来教員になる夢があるという2年の鶴田琳子さん(17)は「視野を広く持つことが大切と感じた。今後進む道でも、今回学んだことを生かせるようにしたい」と話した。

(林泰輔)